

量)に、地涌千界の大菩薩釋迦・多寶・十方の諸佛の御讓御約束を空く黙止てはてさせ給
 べき歟。外典の賢人すら時を待まつ。郭公ほととぎすと申す畜鳥は卯月うづき五月つきに限る。此大菩薩も末
 法に出べしと見えて候。いかんと候べきぞ。瑞相と申事は内典外典に付て必有スルべき
 事先に現ノずるを云也。蜘蛛かゝて喜よろこび事来り、鴉かさぎ鵲まうす鳴て客人来ると申て、小事しるしすら驗
 先に現ニず。何ニ況や大事をや。されば法華經序品の六瑞は一代超過の大瑞也。涌出品は
 又此には似にべくもなき大瑞也。故に天台云、雨の猛きを見ては龍の大きな事を知
 華の盛シなるを見ては池の深き事を知と書れて候。妙樂云、智人は起を知り、蛇は自ら
 蛇を知と云云。今日蓮も之を推して智人の一分とならん。去る正嘉元年太歲丁巳八月二十
 三日戌亥の刻の大地震と、文永元年太歲甲子七月四日の大彗星。此等は佛滅後二千二百餘
 年の間未だ出現せざる大瑞也。此大菩薩の此大法を持て出現し給フべき先瑞歟。尺
 の池には丈の浪たたず、驢吟ウずるに風鳴フらず。日本國の政事亂れ萬民歎クくに依ては
 此大瑞現じがたし。誰か知ん、法華經の滅不滅の大瑞なりと。二千餘年の間惡王の
 萬人に訾シらるる。謀叛の者の諸人にあだまるる等。日蓮が失とがもなきに高きにも下ひき
 にも、罵詈毀辱刀杖瓦礫等ひまなき事二十餘年也。唯事にはあらず。過去の不輕菩

① し給べき=すべき ② 風鳴らず=不風 ③ 歎くに依ては此大瑞=歎き依此大瑞 ④ 誰か知らん=惟に知ぬ